

平成26年2月

新天門橋架設工事に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、新天門橋架橋工事に關し、主として海上工事となるパイロットロープの渡海作業及び直下吊工法による桁架設關連工事中における航行船舶並びに工事作業従事船舶の航行安全対策について調査・検討した。

調査・検討にあたっては、提案された施工計画及び別途事前に実施された通航船舶に關する調査並びに潮流調査の結果等をもとに、工事作業海域の実情並びに工事中における可航水域と通航船舶との關係を詳細に調査・確認のうえ、各工程ごとに検討すべき課題を抽出し、それぞれの課題について安全性を確認するとともに必要な航行安全対策を検討した。

具体的には、パイロットロープの渡海作業については、船舶の通航が不可能となることから、主として通航船舶及び關係者に対する周知・広報対策について検討、桁架設工事に關しては、ビジュアル型操船シミュレータ実験を通じて、工程ごとの可航水域における通航可能な船舶を精査し、実行性等を踏まえた通航方法等を検討して、具体的な安全対策を提案した。

また、各工事・作業ともに通航船舶・關係者のみならず工事作業船に対する適時的確な情報提供が非常に重要となることから、必要な情報の円滑な収集と提供を行うため、工事の安全管理組織と通航船舶の航行の安全を支援する組織からなる安全管理体制の整備についても提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 委員会等
- (3) 新天門橋の概要
- (4) 施工計画
- (5) 航行環境
- (6) 安全性の基礎検討
- (7) 安全性の総合検討
- (8) 航行安全対策